

模試と同傾向の出題 ～ベネッセ・駿台模試より～

英語（筆記）

センター試験・第2問C 問2

問2 George: Sometimes I feel that I am not a very good musician.

Robin: Come on! 25

(A) No one is	(A) more talented	(A) in all the other people.
(B) You are	(B) the most talented	(B) than you.

第3回ベネッセ・駿台マーク模試・第2問C 問1

問1 Jack: Hey, it froze again! I just bought this computer yesterday.

Yuko: Let me see ... ah, 24

(A) luckily,	(A) there is something wrong	(A) with it.
(B) unfortunately,	(B) you can exchange the computer	(B) without it.

今回のセンター試験英語（筆記）の第2問C（応答文完成）では、3組の(A)(B)のうち最初の2組までは内容的に成立する組合せが複数あり、最後の3組目で語法文法的な判断をさせるタイプが特徴的であった。上記の例では、(A)No one is (A) more talented (B) than you.が正答になるが、(B) You are (B) the most talented (A) in all the other people.の組合せも一見して成立していると錯覚してしまう。

去年は、語法文法面から最初の2組までで消去法的に排除できる出題や、逆に語法文法的には3組すべて用いて成立するが文脈上の判断で解答が1つに絞られるタイプの出題が多かったため、今回は正答の導き方が若干、変化したと言えよう。

第3回ベネッセ・駿台マーク模試の第2問Cでも、今回の変化と同傾向な出題をしている。上記の例のように(A) luckily, (B) you can exchange the computer (A) with it.が成立すると思いきや、正しくは(B) unfortunately, (A) there is something wrong (A) with it.を選ばなければならない。模試を復習することにより、上記の例のような対話の場面に応じて文脈的にも文法的にも正しい英語を組み立てる力を身につけられる。また、このタイプの問題演習は、インタラクティブなスピーキング能力育成に通じるものとなりうる。